

## 9月の県内経済は、一部に持ち直しの動きが続いているものの、東日本大震災ならびに原発事故の影響などにより、全体では引き続き厳しい状況にある。

### 1. 平成23年9月の県内経済

県内経済は、一部に持ち直しの動きが続いているものの、東日本大震災や原発事故による影響などから、全体では引き続き前年を下回る水準にある。

消費動向をみると、大型小売店販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が前年を上回ったが、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計では前年同月比△0.5%となった。乗用車新車販売も、前年のエコカー補助金効果による反動減などから、合計で前年同月比△5.4%となった。

生産活動は、鉱工業生産指数が前月比+1.0%と前月を上回ったものの、前年同月比△7.0%と前年の水準を下回っている。また、大口電力使用量は前年同月比△8.2%と7ヵ月連続で前年を下回った。

投資動向をみると、公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額とも2ヵ月連続で前年を上回った。建築着工（民間・非居住用）は、棟数が5ヵ月ぶりで前年を上回った。新設住宅着工戸数は、前年同月比△22.4%と2ヵ月ぶりで前年を下回った。

企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が2ヵ月ぶり、負債総額が2ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。雇用情勢は、震災復旧関連の求人が引き続き増えてはいるものの、雇用保険受給者実人員が前年を大きく上回るなど、厳しい状況が続いている。

#### 〔消費動向・足踏み〕

9月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計で171億81百万円（前年同月比△0.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。9月の乗用車新車販売は、普通車、小型車、軽乗用車とすべての車種が落ち込み、合計でも13ヵ月連続で前年を下回った。9月の消費者物価指数は99.3となり、前月比で△0.4%、前年同月比では△0.2%となった。個別企業の販売動向をみると、9月の家電量販店は、昨年のエコポイント効果による反動減などから、前年同月を下回る売上となった。一方、9月のホームセンターは、節電対策に関連する暖房機器や除染対応機器などを中心に引き続き前年を上回る売上となった。9月の旅行取扱額は、国外旅行が前年を下回ったものの、団体客を中心に国内旅行が前年を大きく上回ったことから、合計でも前年比で50%程度増加した。

#### 〔投資動向・持ち直し〕

9月の公共工事前払保証取扱は、件数が870件（前年同月比+17.4%）、請負金額は279億12百万円（同+31.8%）、保証金額は125億99百万円（同+61.9%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を上回った。8月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が163棟（前年同月比+7.9%）、床面積が58,634㎡（同+2.3%）、工事費予定額が120億33百万円（同+51.8%）となった。9月の新設住宅着工戸数は、分譲が前年を上回ったものの、持家と貸家がともに前年を下回ったことから、合計でも604戸（前年同月比△22.4%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。

#### 〔生産活動・足踏み〕

8月の鉱工業生産指数は、86.7（季節調整値）で前月比+1.0%と2ヵ月ぶりに前月を上回ったが、原指数は83.2で前年同月比△7.0%と6ヵ月連続で前年を下回った。9月の大口電力販売量は、512百万kw/h（前年同月比△8.2%）と7ヵ月連続で前年を下回った。

〔企業倒産・横ばい〕

9月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が5件（前年同月比△54.5%）と2ヵ月ぶり、負債総額が8億55百万円（同△72.4%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

〔金融動向・預金、貸出金増加〕

9月の預金残高は前年同月比+11.4%と55ヵ月連続、貸出金残高は同+1.4%と5ヵ月連続でともに前年を上回った。

〔雇用動向・やや改善の動き〕

9月の新規求人倍率は、季節調整値が1.24倍（前月比+0.04ポイント）原数値が1.34倍（前年同月比+0.48ポイント）となった。また、9月の有効求人倍率は、季節調整値が0.68倍（前月比+0.04ポイント）原数値が0.73倍（前年同月比+0.24ポイント）となった。一方、9月の雇用保険受給者実人員は19,965人となり、前年同月比で+73.1%となった。

県内経済動向の概要

	項 目	前 年 同 月 比					
		23年4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	▲ 12.7	▲ 5.2	2.1	3.5	▲ 1.6	▲ 0.5
	乗用車新車登録台数	▲ 38.4	▲ 34.0	▲ 24.1	▲ 27.4	▲ 32.0	▲ 5.4
	消費者物価指数（総合）	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.6	0.3	0.5	▲ 0.2
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 45.6	▲ 35.7	▲ 37.0	▲ 38.8	22.2	31.8
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 35.9	▲ 35.3	▲ 15.1	▲ 26.5	7.9	—
	新設住宅着工戸数	▲ 29.4	▲ 39.7	▲ 42.1	▲ 19.2	59.3	▲ 22.4
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	▲ 27.1	▲ 13.4	▲ 7.4	▲ 9.2	▲ 7.0	—
	大口電力販売量	▲ 37.1	▲ 21.4	▲ 14.9	▲ 12.6	▲ 13.4	▲ 14.4
企業倒産	企業倒産件数注2	▲ 40.0	240.0	57.1	▲ 53.8	0.0	▲ 54.5
	企業倒産金額注2	▲ 71.6	0.9	38.5	86.3	▲ 26.3	▲ 72.4
金融動向	預 金	6.0	7.5	10.1	10.6	11.1	11.4
	貸 出 金	▲ 0.5	0.3	0.9	0.9	1.2	1.4
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.10	0.09	0.13	0.17	0.21	0.24
	新規求人倍率（パート含む）注1	0.03	0.02	0.29	0.45	0.37	0.48

注1 原指数 注2 負債総額10百万円以上

	項 目	前 月 比					
		23年4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	10.5	10.6	2.0	9.2	▲ 3.2	▲ 9.1
	乗用車新車登録台数	▲ 21.6	2.3	45.7	5.0	▲ 13.8	47.1
	消費者物価指数（総合）	0.7	▲ 0.3	▲ 0.2	0.0	0.2	▲ 0.4
投資動向	公共工事前払保証取扱保証請負金額	▲ 5.6	▲ 30.5	63.9	34.2	30.4	30.3
	建設着工棟数（民間・非居住用）	▲ 31.7	▲ 21.4	62.1	5.6	63.0	—
	新設住宅着工戸数	▲ 23.8	12.5	5.1	24.6	66.8	▲ 43.2
生産活動	鉱工業生産指数（総合）注1	12.8	18.9	7.8	▲ 0.2	1.0	—
	大口電力販売量	7.6	20.9	15.3	11.5	▲ 6.4	5.1
企業倒産	企業倒産件数注2	▲ 14.3	183.2	▲ 35.3	▲ 45.5	66.7	▲ 50.0
	企業倒産金額注2	▲ 94.3	392.8	17.8	189.7	▲ 91.5	19.7
金融動向	預 金	4.0	1.5	3.7	▲ 0.3	0.4	▲ 0.1
	貸 出 金	▲ 0.8	0.2	0.6	0.8	0.02	0.2
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）注1	0.00	0.02	0.07	0.05	0.02	0.04
	新規求人倍率（パート含む）注1	▲ 0.05	0.05	0.25	0.07	▲ 0.06	0.19

注1 季節調整値 注2 負債総額10百万円以上

## 2. 県内経済動向

### — 消費動向 —

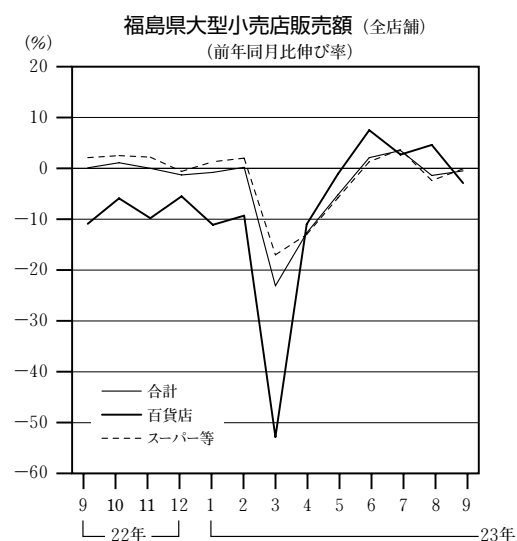
**大型小売店** 9月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品が前年を下回ったことなどから、合計で171億81百万円（前年同月比△0.5%）と2ヵ月連続で前年を下回った。一方、既存店ベースでは、前年同月比+3.0%と前年を上回った。（注：既存店とは調査月において当月と前年同月でともに存在した事業所の数値。）

業態別にみると、百貨店は、主力の衣料品、飲食料品とも前年を下回り、全店舗ベースの合計では22億17百万円（前年同月比△2.9%）と4ヵ月ぶりに前年比で減少した。また、既存店ベースでも前年同月比△2.9%となった。

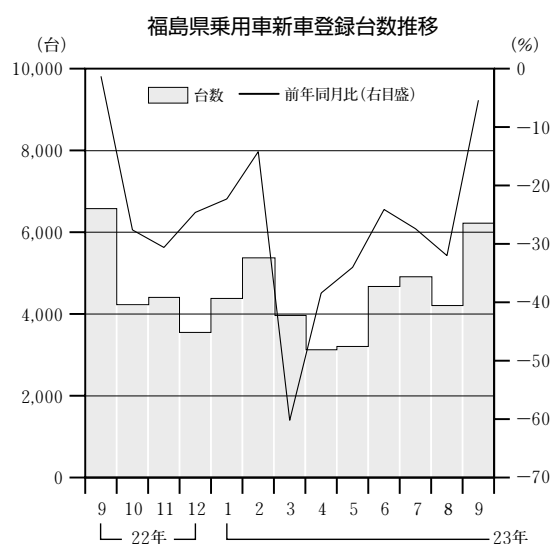
一方、スーパーは、飲食料品が前年を上回ったものの、衣料品および家具・家電・家庭用品が前年割れしたことなどから、全店舗ベースの合計でも149億64百万円（同△0.1%）と2ヵ月連続で前年を下回った。但し、既存店ベースでは、前年同月比+3.9%となった。

**乗用車販売** 9月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,281台（前年同月比△5.4%）と前年のエコカー補助金効果による反動減などから、13ヵ月連続の前年割れとなった。車種別で見ると、普通車は1,910台（同△10.4%）、軽乗用車は2,030台（同△6.2%）と12ヵ月連続、小型車は2,341台（同△0.04%）と13ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。

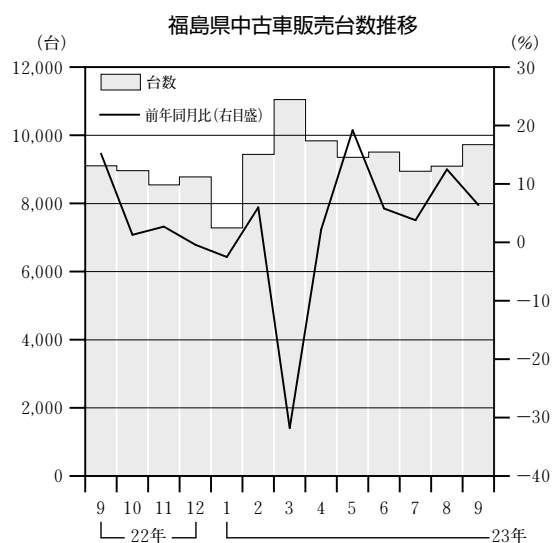
9月の乗用車中古車販売台数（軽自動車は名義変更を含む）は、合計で9,755台（前年同月比+6.4%）と6ヵ月連続で前年を上回った。車種別にみると普通車は2,971台（同+15.0%）と5ヵ月連続、小型車は3,690台（同+2.6%）、軽乗用車は3,094台（同+3.5%）と6ヵ月連続でそれぞれ



（資料：経済産業省）



（資料：・日本自動車販売協会連合会福島県支部）



（注）軽自動車は名義変更台数含む  
資料：・日本自動車販売協会連合会 福島支部  
・全国軽自動車販売協会連合会

前年を上回った。

**消費者物価指数** 9月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、平成22年=100）でみると、99.3と前月比で△0.4%、前年同月比では△0.2%となった。

費目別にみると、「被服及び履物」が102.5（前月比+9.0%）、「光熱・水道」が104.5（同+0.1%）と、2費目が前月比で上昇した。一方、「家具・家事用品」が94.6（同△1.8%）、「交通通信」が101.5（同△1.7%）などとなり、6費目が前月比で下降した。

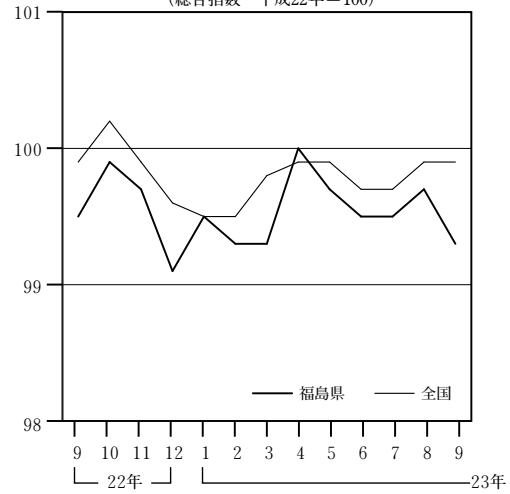
**家電量販店** 9月の家電量販店の売上高は、薄型テレビが地デジ対応による買換え需要の一巡、エアコンが昨年のエコポイント効果による反動減と節電対応などから、それぞれ前年同月を下回り、合計でも前年割れとなった。

**ホームセンター** 9月のホームセンターの売上高は、節電対策として石油ストーブなどの暖房器具や除染対応として高圧洗浄機などが大きく前年を上回り、合計でも引き続き前年比で増加となった。

**旅行** 9月の旅行取扱額実績は、国外旅行が前年を下回ったものの、行政主催による県内旅行が引き続き大きな伸びを示し、団体客を中心とした国内旅行が前年を大きく上回ったことから、合計でも前年比で約50%増加した。

**高速道路** 9月の県内自動車道出入口台数は、被災証明書および罹災証明書による利用料無料措置の影響が大きく、合計で6,794,715台（前年同月比+76.1%）と5ヵ月連続で前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）は、3,999,217台（同+76.7%）と6ヵ月連続で前年を上回った。また、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）は、569,630台（同+114.9%）、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は、1,011,227台（同+84.3%）、常磐自動車道（いわき勿来IC～常磐富岡IC）は1,214,641台（同+55.3%）となり、それぞれ4ヵ月連続で前

福島県消費者物価指数  
(総合指数 平成22年=100)



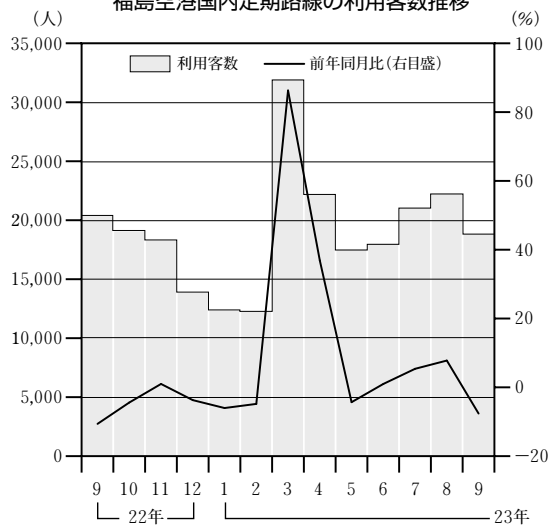
(資料：総務省統計局)

福島県高速道路出入交通量



(資料：東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



(資料：福島県商工労働部空港交流課)

年を上回った。

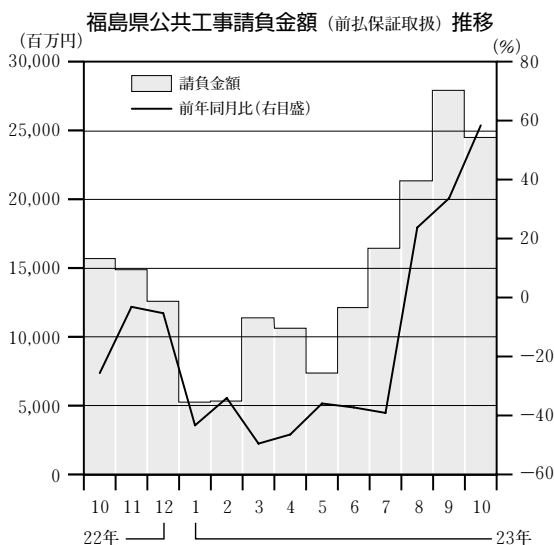
**福島空港** 9月の福島空港国内定期路線の利用状況は、19,011人（前年同月比△7.6%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は9,569人（同+0.4%）、大阪便は9,442人（同△14.4%）となった。一方、国際定期路線については、ソウル便ならびに上海便とも、全便運休により、利用実績はなかった。

## —— 投資動向 ——

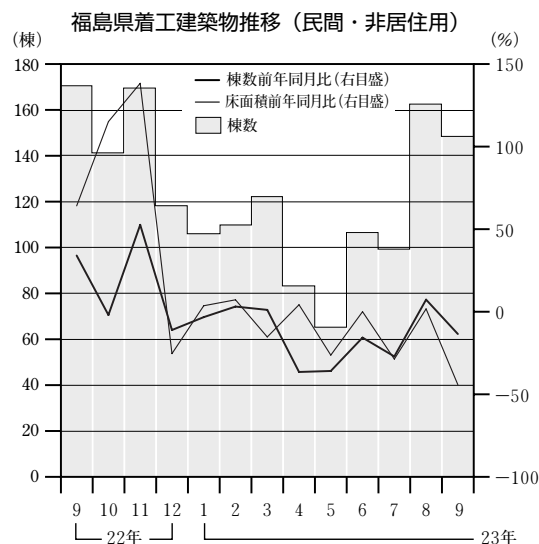
**公共工事** 9月の公共工事前払保証取扱は、件数が870件（前年同月比+17.4%）と2ヵ月連続で前年を上回った。請負金額は279億12百万円（同+31.8%）、保証金額は125億99百万円（同+61.9%）となり、それぞれ2ヵ月連続で前年を上回った。また、年度累計（2011年4月～9月）では、件数が3,164件（前年同期比△6.6%）、請負金額が962億39百万円（同△17.3%）、保証金額が429億57百万円（同+0.2%）となっている。9月の主な発注者別請負金額をみると、国が25億68百万円（同△5.1%）、県が108億38百万円（同+49.9%）、市町村が88億71百万円（同△3.6%）となった。

**設備投資** 8月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が163棟（前年同月比+7.9%）と5ヵ月ぶりで前年を上回った。また、床面積は58,634㎡（同+2.3%）、工事費予定額は120億33百万円（同+51.8%）となった。

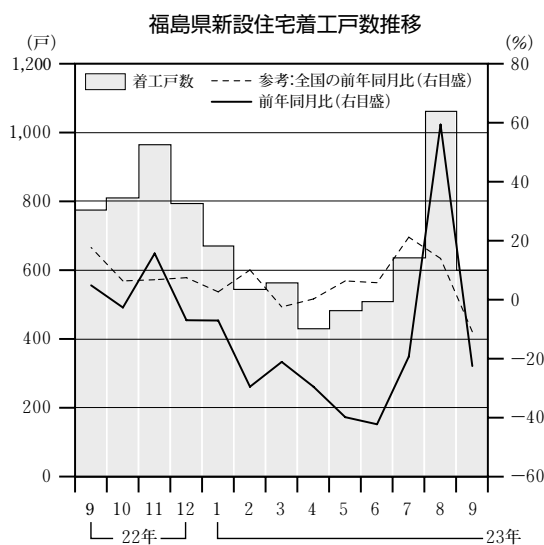
8月の建築物確認件数（計画変更を除く）は、687件（前年同月比+0.4%）と2ヵ月連続で前年を上回った。建築物別にみると、1～3号建物（一定規模以上の建築物が対象）は141件（同△2.1%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。4号建物（小規模な木造・非木造住宅などが対象）は546件（同+1.1%）と2ヵ月連続で前年を上回った。「構造計算適合性判定合格件数」は12件となり、



(資料：東日本建設業保証(株))



(資料：国土交通省)



(資料：国土交通省)

前月比で8件減った。

建築物着工の先行指標である8月の建築物申請件数は、686件（同△5.0%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。建築物別にみると、1～3号建物は137件（同+4.6%）と2ヵ月ぶりで前年を上回った。4号建物は549件（同△7.1%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。「構造計算適合性判定申請件数」は7件と、前月比で14件減少し、3ヵ月ぶりで前月を下回った。

**住宅建設** 9月の県内新設住宅着工戸数は、604戸（前年同月比△22.4%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」は461戸（同△9.8%）、「貸家」は101戸（同△57.4%）と2ヵ月ぶりに前年を下回ったが、「分譲」は33戸（同+17.9%）と2ヵ月連続で前年を上回った。一方、マンションの着工戸数は10ヵ月連続でゼロとなった。

## 生産活動

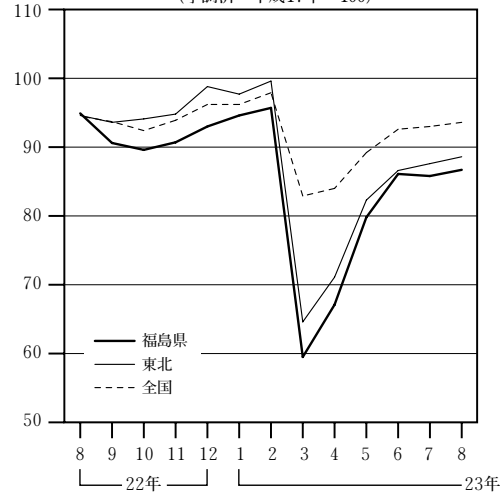
**鉱工業生産指数** 8月の鉱工業生産指数は、86.7（季節調整値）で前月比+1.0%と2ヵ月ぶりに前月を上回ったが、原指数は83.2で前年同月比△7.0%と6ヵ月連続で前年を下回った。

業種別の季節調整値をみると、「非鉄金属工業」（前月比+60.5%）、「精密機械工業」（同+31.3%）など10業種で上昇したが、「印刷業」（同△26.7%）、「食料品・たばこ工業」（同△13.9%）など10業種で下降している。

※福島県では、調査対象企業のうち、震災の影響により調査できない約3%の企業の生産額は0として処理している。

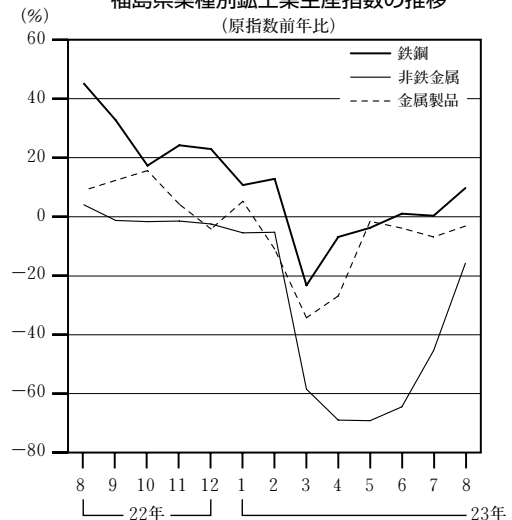
**化学** 9月の食品包装フィルム用合成樹脂および金属代替プラスチックは、受注の持ち直しをフル生産で対応しており、前年並みの高い生産水準に回復した。一方、バリウム化合物（電子部品原料）は、薄型テレビの減産による影響などから、引き

福島県鉱工業生産指数（全国、東北との比較）  
（季調済 平成17年=100）



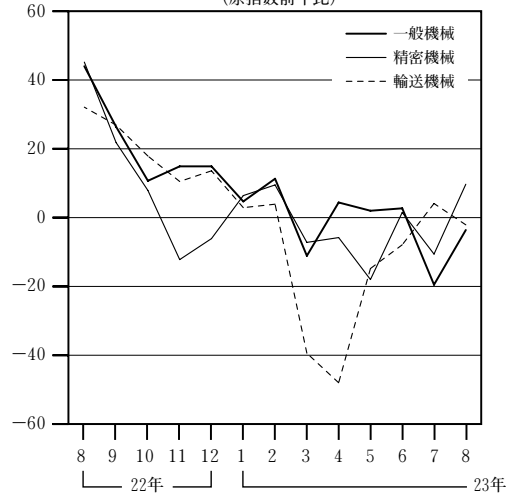
（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

福島県業種別鉱工業生産指数の推移  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計調査課）

続き当初計画を下回る生産水準となった。

**鉄鋼・金属** 9月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材がほぼ前年並みの受注量を確保したものの、半導体向け電子材が円高と低調な欧米経済の影響から、やや生産水準を落としたため、全体では前年をやや下回る水準となった。建機用鋳造品は、新興国向けの堅調な受注を背景に前年を上回る生産を保った。また、陸船用バルブは、船舶向けの受注が前年を下回ったため、生産量は前年比で減少したが、単価の高いプラント向けの受注が増えたことから、生産額では前年を上回った。

**輸送用機械** 9月の鋳造品は、トラック向けが国内と新興国の安定した受注を確保したため、前年を2割近く上回る生産となった。また、オイルシールの生産は、自動車メーカーの受注が上向いており、前年と同程度の水準となった。カーナビおよびカーオーディオは、自動車メーカーからのこれまでの受注繰り延べ分をフル生産で対応していることなどから、前年をやや上回る生産水準となった。

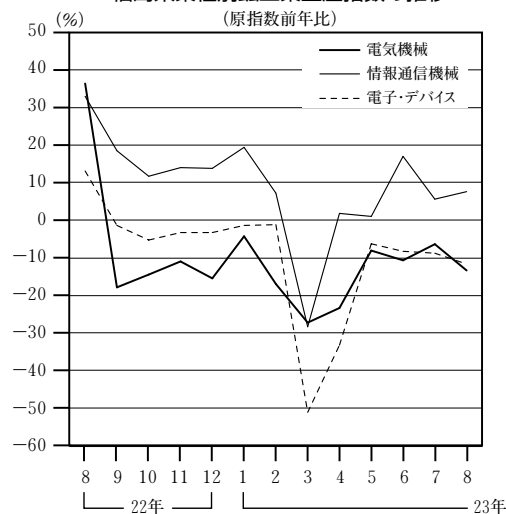
**電気機械** 9月の配電盤は、火力発電所向けの生産が続いており、引き続き前年を上回る生産となった。一方、自動車モーターの生産は、自動車メーカーの生産が上向いてきているものの、前年を下回る水準にとどまった。

**情報通信機械** 9月の携帯電話中継局用マイクロ波通信機器は、アジア向けを中心に受注を確保し、ほぼ前年並みの生産となった。

**電子部品・デバイス** 9月のLSI（大規模集積回路）の生産は、AV・ゲーム機・家電および産業機器、車載品向けの受注がそれぞれ前年を下回り、全体でも前年割れとなった。

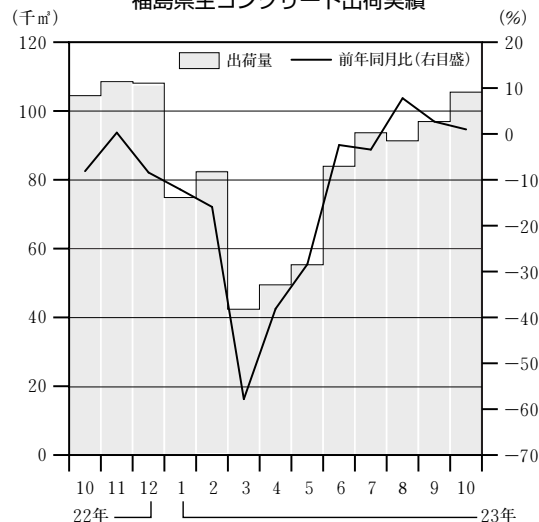
**精密機械** 9月の医療用内視鏡の生産は、国内向け製品の操業度が上昇しているものの、欧州向けが伸び悩み、合計では前年を1割程度下回る水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズの生産は、円高の影響や欧米からの受注に

福島県業種別鉱工業生産指数の推移



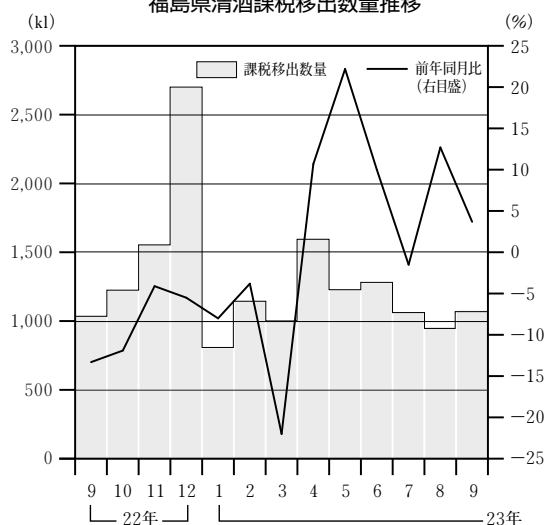
(資料：福島県企画調整部統計調査課)

福島県生コンクリート出荷実績



(資料：福島県生コンクリート工業組合)

福島県清酒課税移出数量推移



(資料：福島県酒造組合)

不透明感が始めているものの、前年並みの水準を保った。

**紙・紙加工品** 9月のダンボールの生産は、自動車向けが前年を下回ったものの、農作物向けが前年並みとなるなど、全体でもほぼ前年の水準を維持している。また、ノーカーボン紙および感熱紙は、生産設備も復旧しており、前年並みの受注量を確保している。

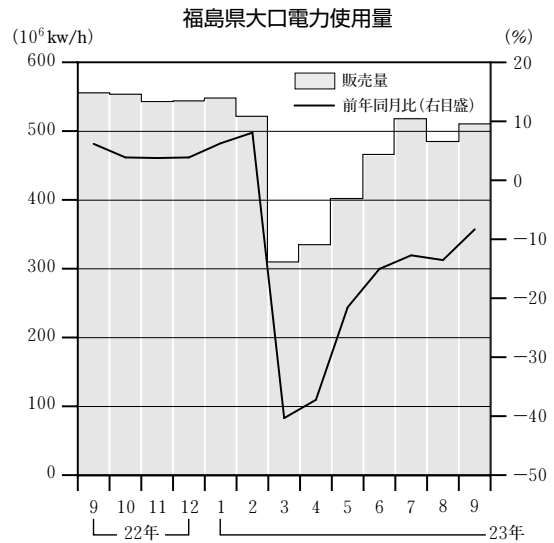
**窯業・土石** 9月の生コンクリート出荷量は、全体で97,485<sup>m</sup>（前年同月比+2.7%）と2ヵ月連続で前年を上回った。地区別にみると、県中地区では商業施設や医療機関などの新築工事、いわき地区では原発の復旧工事や火力発電所の増設工事などにより、前年を上回る出荷量となった。一方、相双地区では、東日本大震災の影響から、民需、官公需とも大幅な減少が続いた。

**清酒** 9月の清酒移出数量は、1,091kl（前年同月比+3.7%）と2ヵ月連続で前年を上回った。酒類別では、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が412kl（同+16.7%）と6ヵ月連続で前年を上回った。一般酒（特定名称酒以外の酒）は、679kl（同△2.8%）と2ヵ月ぶりで前年を下回った。

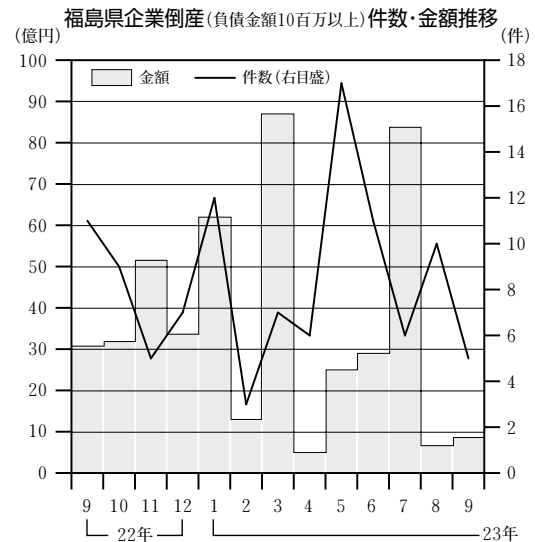
**化合繊維物** 9月のナイロンは、単価の高いダウンジャケットの表地向けの生産が堅調に推移していることから、前年を大きく上回る生産額となった。

**ニット** 9月のニットは、秋冬物が前年並みの生産となり、一部では展示会向け春物の生産も始まっている。

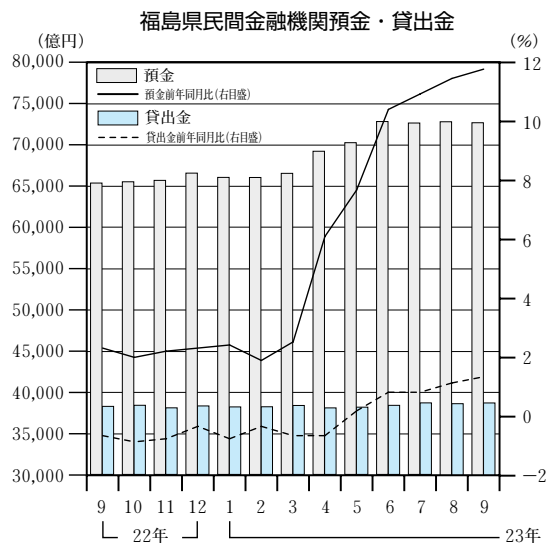
**大口電力** 9月の大口電力販売量は、512百万kw/h（前年同月比△8.2%）と7ヵ月連続で前年を下回った。大口主要販売先を業種別にみると、「非鉄金属」で126百万kw/h（同△1.4%）、「電気機械」で89百万kw/h（前年同月比△12.4%）、「輸送用機械」で61百万kw/h（同△1.6%）、「化学」で45百万kw/h（同△19.5%）、「一般機械」で28百万kw/h（同△2.5%）、「紙・パルプ」で14百万kw/h（同△13.0%）となっている。



(資料：東北電力福島支店)



(資料：帝国データバンク福島支店)



(資料：日本銀行福島支店)



## —— 企 業 倒 産 ——

**企業倒産** 9月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、倒産件数が5件（前年同月比△54.5%）と2ヵ月ぶり、負債総額が8億55百万円（同△72.4%）と2ヵ月連続でそれぞれ前年を下回った。また、業種別では、建設業、小売業、製造業、サービス業、その他が各1件となった。

年間累計（2011年1月～9月）で見ると、倒産件数が77件（前年同期比△4.9%）、負債金額が320億18百万円（同+29.8%）となっている。

## —— 金 融 動 向 ——

**資金需要** 県内金融機関（全国銀行、第二地銀、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の9月末の預金残高は、7兆2,769億円（前年同月比+11.4%）と55ヵ月連続で前年を上回った。貸出金残高は、3兆8,778億円（同+1.4%）と5ヵ月連続で前年を上回った。

**保証協会** 9月の保証承諾は、件数が1,600件（前年同月比+40.7%）、保証金額が251億40百万円（同+118.6%）となり、震災復興関連で大幅に増加した。また、9月末日現在の保証債務残高は、件数47,661件（同+11.0%）、金額4,682億3百万円（同+34.6%）となった。一方、9月中の代位弁済は、件数が72件（同+7.5%）、金額が5億69百万円（同△21.5%）となった。

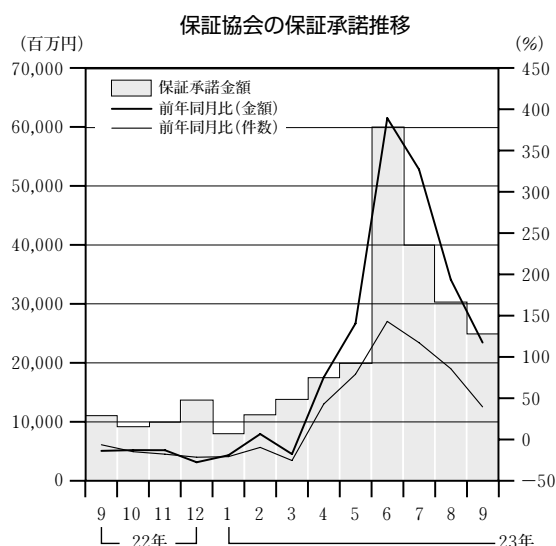
## —— 雇 用 動 向 ——

**雇用動向** 9月の新規求職申込件数（原数値）は10,342件（前年同月比△8.0%）と2ヵ月ぶりに減少したが、新規求人数（原数値）は13,837人（前年同月比+43.6%）と震災復旧関連により6ヵ月連続で前年を上回った。

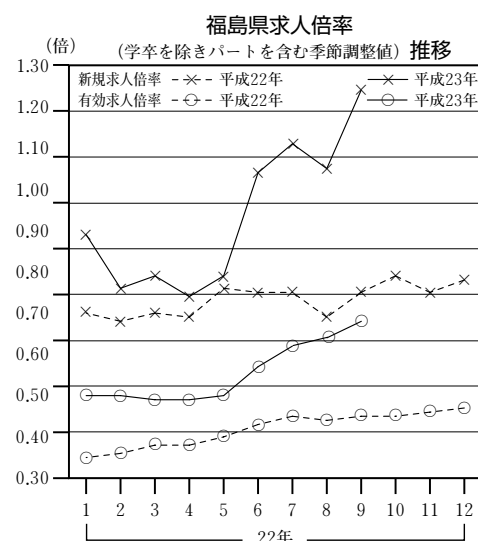
9月の新規求人倍率は、季節調整値が1.24倍

（前月比+0.19ポイント）原数値が1.34倍（前年同月比+0.48ポイント）となった。また、9月の有効求人倍率は、季節調整値が0.68倍（前月比+0.04ポイント）原数値が0.73倍（前年同月比+0.24ポイント）となり、季節調整値が5ヵ月連続、原数値が18ヵ月連続でそれぞれ上昇した。

一方、9月の雇用保険受給者実人員は19,965人となり、東日本大震災により雇用保険給付条件が緩和されたこともあるが、厳しい雇用情勢を反映して前年同月比で+73.1%となった。



(資料：福島県信用保証協会)



(資料：福島労働局職業安定部)